

コンクリート改質剤 塩害・アルカリ骨材反応抑止剤(浸透性防錆剤)

# エレホン アルカード

エレホン・アルカードは、鉄筋の不動態皮膜形成を促進し、腐食の進行を抑止する効果と、アルカリ骨材反応を抑止する、浸透・拡散型の防錆剤です。

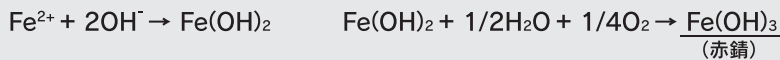
海水等塩化物による鉄筋の腐食が予想される場合、またアルカリ骨材反応により劣化したコンクリートに対し優れた膨張抑止効果を発揮します。

標準品の25%水溶液(アルカード)と特注品の40%水溶液(アルカード40)があります。

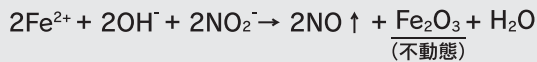
## 特長

### ▶ 塩害抑止効果(防錆効果)

鉄イオンに対する腐食反応



鉄イオンに対する不動態形成反応式



鉄イオンを不動態に変え、錆の進行を抑止します。

### ▶ アルカリ付与効果

不動態形成により鉄筋付近では、強アルカリ成分であるリチウム濃度が上昇し、アルカリ付与効果が増大します。

### ▶ アルカリ骨材反応抑止効果

リチウムイオンがアルカリ骨材反応を抑止します。

## 用途

- 海水あるいは融雪剤等に含まれる塩化物により、鉄筋腐食が発生している、または腐食が想定されるRC構造物
- コンクリート打設時に持ち込まれた塩化物により、鉄筋腐食が発生している、または腐食が想定されるRC構造物
- アルカリ骨材反応により劣化した、コンクリート面及び中性化部分
- 防錆ペースト、防錆モルタル配合用

## ● 荷姿



20kg缶



4kgポリ容器



400gポリ容器

## 施工要領

① 下地処理 劣化部や浸透を妨げるコンクリート表面の付着物を除去する。除去後はコンクリートを**乾燥状態**にする。

② 塗布

	塗布・含浸のみ	断面修復を行う場合
標準塗布量(g/m <sup>2</sup> )	400	200

ハケまたはローラーで、規定量をむらなく塗布する。断面修復を行う場合は2回、塗布のみの場合は数回に分けて塗布する。塗布は液の浸透を確認後、連続して行う。断面修復を行う場合、**液が浸透せず流れ落ちるようになった時は、接着不良を生じる可能性があるため、塗布を中止する。**

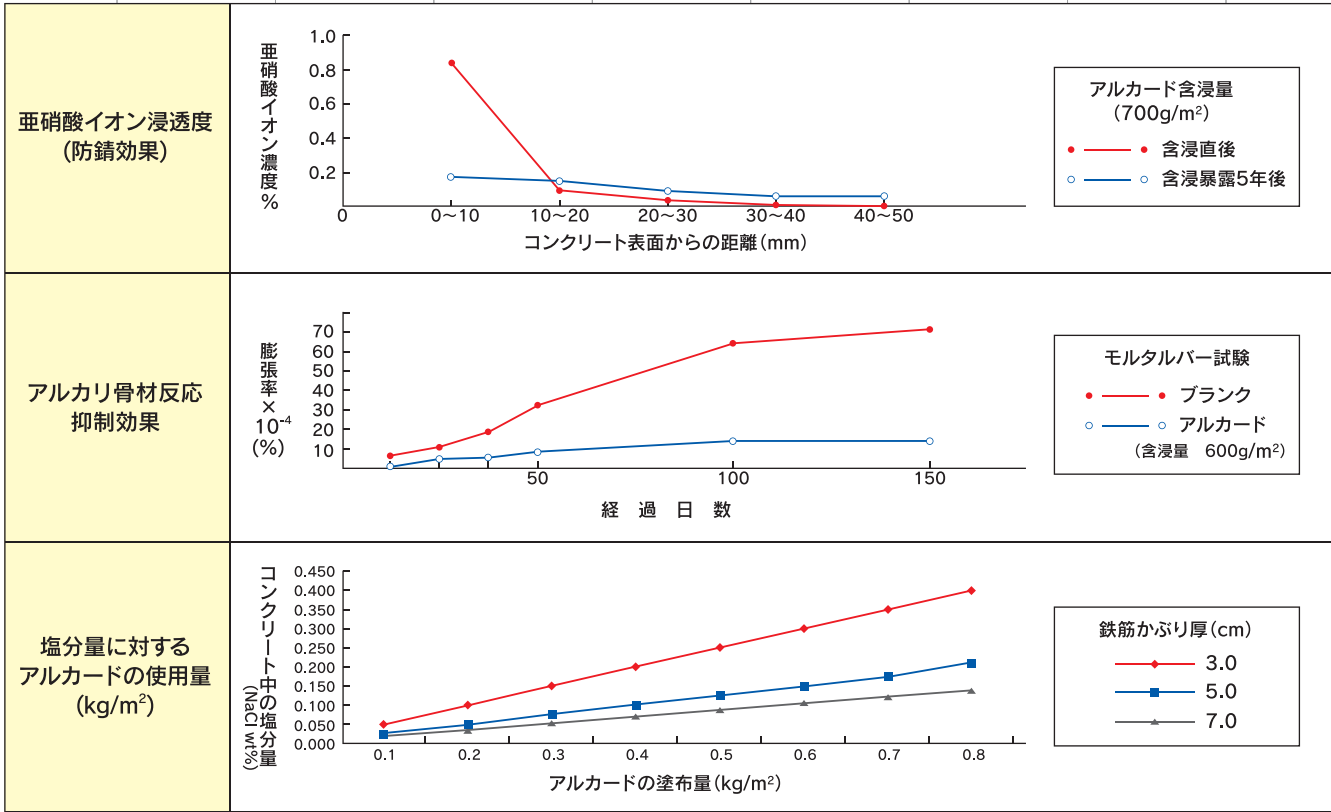
※アルカードを塗布後、コンクリート表面に硬化層や白い粉化を生じた場合は、上塗材の接着不良を生じることがあります。また、既にアルカリ付与剤、エポキシ系下地強化剤等の浸透性物質が塗られている場合は、アルカードが浸透することを確認して下さい。浸透しない場合は表面で硬化し、接着不良の原因になることがあります。事前に試験塗布を行い、確認してからご使用下さい。

③ 養生 塗布後24時間以上養生する。

※亜硝酸リチウムは上塗材(特にウレタン系材料)の変色や膨れを生じさせることがありますので、ご注意下さい。

**試験成績**

試験項目	アルカード		アルカード40		試験方法
	試験結果	規格値	試験結果	規格値	
外観	青色透明	青色透明	青色透明	青色透明	目視
亜硝酸リチウム濃度(%)	25.2	24~26	40.1	39~41	滴定法
粘度(mPa·s)	6.0	10以下	9.0	50以下	JIS K 6833
比重	1.15	1.10~1.20	1.25	1.20~1.30	JIS K 0061
P H	10.7	9.5~11.5	9.3	8~10	JIS Z 8802



**● 使用上の注意**

- ・ご使用に際してはMSDS(製品安全データシート)をよく読んで下さい。
- ・アルカードと酸類を絶対に接触させないで下さい。亜硝酸ガスが発生します。
- ・アルカード塗布時には保護メガネ、保護手袋、長袖シャツ、マスク等を着用し、眼や皮膚に付着しないように注意して下さい。
- ・ハケやローラーで塗布し、スプレー塗布は避けて下さい。
- ・水生生物に対し有害ですので、河川工事等での使用は避けて下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。河川や湖沼、下水等へ廃棄しないで下さい。
- ・アルカードが残った場合は、ふたをして乾燥を避けて下さい。
- ・0~40℃で保管して下さい。

**代理店**



特殊セメントの分野を大きくリードする

**エレホン・化成工業株式会社**  
**EREWHON**

<http://www.erewhon.co.jp/>

- |                 |           |                     |                    |                    |
|-----------------|-----------|---------------------|--------------------|--------------------|
| ● 本社            | 〒870-0141 | 大分県大分市三川新町1-2-23    | TEL (097) 552-2251 | FAX (097) 552-2213 |
| ● いわき工場         | 〒979-3112 | 福島県いわき市小川町上平字中平30-3 | TEL (0246) 83-2600 | FAX (0246) 83-2677 |
| ● 大阪支店          | 〒564-0063 | 大阪府吹田市江坂町2-12-50    | TEL (06) 6388-6585 | FAX (06) 6388-6561 |
| ● 福岡支店          | 〒814-0151 | 福岡県福岡市城南区堤1-9-10    | TEL (092) 874-6990 | FAX (092) 862-6398 |
| ● 関東・東支店        | 〒340-0055 | 埼玉県草加市清門町2-4-8-3    | TEL (048) 951-1987 | FAX (048) 951-1988 |
| ● 仙台支店          | 〒984-0012 | 宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2  | TEL (022) 287-7221 | FAX (022) 287-7222 |
| ● 名古屋支店         | 〒463-0048 | 愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21  | TEL (052) 758-1889 | FAX (052) 758-1890 |
| ● 札幌営業所         | 〒007-0805 | 北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32 | TEL (011) 786-6051 | FAX (011) 786-6052 |
| ● 盛岡営業所         | 〒020-0838 | 岩手県盛岡市津志田中央3-6-11   | TEL (019) 681-9531 | FAX (019) 681-9532 |
| ● 新潟営業所         | 〒950-0925 | 新潟県新潟市中央区弁天橋通3-1-31 | TEL (025) 286-6260 | FAX (025) 286-6263 |
| ● 関東・北営業所       | 〒320-0056 | 栃木県宇都宮市戸祭2-5-5      | TEL (028) 680-6313 | FAX (028) 680-6323 |
| ● 関東・西営業所       | 〒224-0064 | 神奈川県横浜市都筑区平台19-24   | TEL (045) 306-6200 | FAX (045) 949-2015 |
| ● 北陸営業所         | 〒920-0027 | 石川県金沢市駅西新町2-11-25   | TEL (076) 204-9417 | FAX (076) 204-9418 |
| ● 神戸営業所         | 〒652-0032 | 兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-7-5-1 | TEL (078) 599-6630 | FAX (078) 599-6631 |
| ● 広島営業所         | 〒739-1731 | 広島県広島市安佐北区落合2-41-22 | TEL (082) 841-2350 | FAX (082) 841-2360 |
| ● 北九州営業所        | 〒807-0801 | 福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1 | TEL (093) 616-8470 | FAX (093) 616-8471 |
| ● 熊本営業所         | 〒861-8045 | 熊本県熊本市東区小山2-14-47   | TEL 050-3399-7419  | FAX (096) 388-6227 |
| ● 鹿児島営業所        | 〒890-0082 | 鹿児島県鹿児島市紫原1-5-1-25  | TEL (099) 284-0533 | FAX (099) 284-0535 |
| ● ㈱エレホン・技研本社    | 〒781-0270 | 高知県高知市長浜1-9-3       | TEL (088) 805-2332 | FAX (088) 841-2322 |
| ● ㈱エレホン・技研岡山営業所 | 〒791-8042 | 愛媛県松山市南吉田町1408-1    | TEL (089) 974-8225 | FAX (089) 974-8230 |